

東和作戦会議 速報 No 1 5

一般社団法人東和作戦会議広報
令和2年3月3日 発行
一般社団法人東和作戦会議ホームページ
<http://touwa-noutabi.blogspot.jp/>

東和おもしろ学「ツアーガイド現地体験」開催 令和2年2月20日(木) 9:00~12:00

1月21日に開催した「ツアーガイド講座」の際に「ツアーガイド現地体験」を開催することになり、この講座参加者を中心に10名が参加して実施しました。

行程 9:00 道の駅とうわ 出発～胡四王山

～賢治詩碑～羅須地人協会

～道の駅とうわ 11:10 到着

※昼食会 味処東和(昼食代各自負担)12:00 解散

テーマ「ガイドの活動とガイド実践のノウハウ」

講師 花巻市観光協会花巻おもてなし観光ガイド 葛岡貞典さん

賢治ゆかりの地を巡るということで、車中では「精神歌」の合唱を行うなど終始和やかに行われました。



胡四王神社社殿 1867年完成。拝殿の欄間、脇障子には、昇り龍、降り龍。後ろの本殿には鯉の滝登りの素晴らしい彫刻が施されている。花巻の名匠、二代目高橋勘次郎とその弟子小原喜代治(東和出身)の作と言われている



宮沢賢治記念詩碑（羅須地人協会跡）

明治45年頃祖父の隠居所として建てられ、その後妹トシの療養所、そして大正15年賢治居住、羅須地人協会として2年余使用された。高村光太郎揮毫の詩碑がある。建立後、判明した誤りを正すために、光太郎の追刻が行われたという珍しい詩碑。 下ノ畑も遠望



胡四王山に六つあるという珍木のひとつ、二人で触ると愛が成就すると言われる「**愛染の杉**」



正月2日の蘇民祭で、蘇民袋を奪い合う男たちが、勇壮に駆け降りる北の参道・石段。



道の駅とうわの「味処とうわ」で昼食をとりながら、感想発表。お天気にも恵まれ、楽しいひとときを過ごした参加者、笑顔がほころぶ



花巻農業高校そばに移築された現在の「羅須地人協会」。冬季は閉館となっているため、中を見ることはできなかった。建物内部は当時の間取りとは若干違っているが、庭園の石碑には精神歌が刻まれ、賢治のスピリットは今も引き継がれている。花農同窓会が移築、庭園整備

《参加者の感想》

- ★東和町外から参加した。何故か東和に来やすく、図書館も東和を利用している。そこで「おもしろ学」を知り参加するようになった。身近な歴史に触れることができてとても良かった。
- ★U ターンで東和に帰ってきて、当時何も知らなかったが、「東和の歴史と文化財を学ぶ会」でいろいろ学んだ。お客さんが来た時に、東和地域内など案内ができるようにガイドのコツを学びたいと思っていた。今回参加できてよかった。
- ★北海道に赴任していたときに鉾山案内のガイドをした経験があり、今回のガイド講座を参考にさらにガイドにも目を向けていきたい。
- ★昔、毒沢から賢治の史跡見学に歩いて行った思い出がある。胡四王山や賢治についてある程度知っていても、ガイドする方の知識やガイドの仕方でもまた違ったことを知ることができる。
- ★東和出身で、今は他市に住んでいるが、東和の歴史に興味がある。今回の賢治をめぐるツアーガイドも参考になった。
- ★近くに有名な観光地や観光施設があってもなかなか機会がないと行けませんが、今回初めて行ったところもありとても良かった。
- ★胡四王山、賢治記念詩碑など小学校以来。初めて行ったような感じでとても新鮮で勉強になった。
- ★トイレの場所を教えておくとか、見学ルートや所要時間にも配慮されており、ガイドポイントが示されていてとても参考になった。
- ★ガイド体制の継続のためには、ガイドの有償化やガイド先からのリベート など、ボランティアのみに頼らない方向も検討が必要だと思う。

《講師から》

その人なりのガイドの仕方があり、正解はない。個性を生かしてガイドして いくことが良いガイドをするコツとも思う。ポイントをつかんでおくとガイドがやりやすい。東和にはたくさん良いところがあるので、どんどん紹介していくと良いと思う。自分も、おもしろ学会員なので、今後は皆さんから指導していただきたい。

東和おもしろ学 学園祭開催

2020年2月24日(月・振休)東和コミュニティセンターセンター和室

花巻市市民団体等活動支援事業補助金を活用し実施した「東和おもしろ学」の集大成として、事業の振り返りと今後の方向性を探り、会員の親睦を図るため「学園祭」を実施しました。会員20名その他6名劇団員8名計34名が参加。代表あいさつの後、精神歌を参加者全員で斉唱。写真コンクールの表彰式などを行いました。さらに東和作戦会議企画、劇団よぐまんづ東和町制作による歴史朗読劇「土澤の熊」の上演を行いました。



東和の巨木写真コンクール表彰式
表彰状を受け取る準特選の平野保さん(右奥)
特選1点、準特選2点、入選4点
特選には審査員多賀谷慎吾さんの写真集と同ポストカード。準特選、入選者にもポストカードが送られました。



あいさつ
おもしろ学学園長
東和作戦会議薄衣代表理事

昨年6月から実施してきた東和おもしろ学は東和を知り、発信、伝承する目的で活動してきた。学園祭は、これまでを振り返り、次に進めるために行うもの。反省点やご意見をいただきステップアップしていきたい。



歴史朗読劇「土澤の熊」上演 天保時代の一揆のエピソードを朗読劇に作成。作・「劇団よぐまんづ東和町」演出：熊谷恵
荒くれ者のクマは、母の言葉でまっとうに生きることを決意するが、一揆に巻き込まれそうになった仲間を助けるために、封印してきた荒ぶる心を解き放ってしまう。そして・・・

《キャスト》愛称で紹介

写真右から 語り部＝ジュンちゃん。おかあ＝カズちゃん。
本家のじさま＝スケさん。嫁ご＝フキちゃん。クマ＝タカヒロ。
役人＝タカちゃん。おんつあま＝ユウちゃん
演出＝クマさん



こびり「ひな饅頭」で交流会



上演後、参加者の中から役者を募り、最後のシーンを上演。突然の役者指名にも、動じることなく堂々の朗読。

面白そうなことを探してトライする！これぞおもしろ学講座！

《配役》

写真右から、おんつあま＝平野保さん
おかあ＝日下明久美さん。本家のじさま＝今橋克寿さん
よめご＝千葉まゆみさん。(補助スケさんとジュンちゃん)

参加した皆さんの声

- 全講座に参加できなかったのが残念(巨木巡りだけ)地域にはもっともっと大切なものが眠っているような気がします。
- 土澤のクマに感動。演出が良かったです。演技者ひとりひとりの良さが出ていました。
- 今後は、他所の人々から東和の良いところを教えていただき、確認し、次に発信の方向に取り組むと良いと思います。
- バスツアーに参加したい。
- 東和の魅力を発信できるように勉強していきたい。
- 劇団よぐまんづ東和町を江刺に呼んで講演してもらいたい
(奥州市江刺岩谷堂在住 及川ミキ子)
- ぽつんと一軒家で紹介された飛龍山、その周辺の歴史。横川省三エピソード(盛岡市五百羅漢で語り聞かせる人がいます)
- 指定文化財巡りを希望
- この団体の存在を地域に認識され、広がりを見せるには、最低10年はかかると思います。粘り強く続けていくことを切望します。
- おもしろ学で学んだことが、今回の劇で表現され素晴らしかった。始めから涙がこぼれた。
- 土澤の熊に出演させていただきありがとうございました。母の一言に人生をかけました。(なんちゃって)
- おもしろ学ツアーで、山(高館)を歩き、苦勞もしたが面白かった。またいろいろなところに行ってみたい。
- ガイド講座を延長し、今後受講者が、それぞれの特色を出し、東和町内複数のツアーを企画し、現地ガイドを互いにするような企画、実施も面白いと思います。
- いろいろ楽しい学びがありましたが、平日で参加することができませんでした。残念でした。今日は精神歌の歌唱、朗読劇体験、楽しく過ごしました。